



# 週報Rotary



所沢西ロータリクラブ  
RI第2570地区第3グループ

会長：高橋 和男 副会長：須澤 一男  
幹事：荻野 陽一 会長エレクト：石井 秀夫  
クラブ管理運営委員長：本橋源太郎

例会場：〒359-1127 埼玉県所沢市星の宮1-3-5ベルヴィ ザ・グラン TEL.04-2923-4122  
事務局：〒359-1143 埼玉県所沢市宮本町2-22-25角田ビル3F TEL.04-2926-1666  
例会日：毎週火曜日 (PM12:30~13:30) FAX.04-2926-5151  
E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp Site <http://www.tokorozawa-nishirc.net>

**4つのテスト** ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか  
1.点鐘…会長 2.斉唱…ロータリーソング 3.来賓紹介 4.会長・幹事報告 5.委員会報告

## 第 1573 回例会 2019・11・26

ニコニコ 33,000 円 累計 314,000 円

卓 話	例会当番	記念祝福
11/26 R 財団月間 卓話 資金管理小委員会委員長 齋藤 勇司様(鶴ヶ島)RC 学友会副会長 柳田有紀様	木下 精基	
12/3 年次総会 次年度役員承認	木村 孝子	

■出席報告	
月 日	11/12
会員数	30
出席者	25
出席率	83.3%
前回修正	—

### 会長の時間

高橋 和男



皆さんこんにちは、お久しぶりです。

まずは先だつてのガバナー公式訪問が、ホストクラブとしていろいろ不手際はありましたが、当クラブメンバーのご協力と、ガバナー様及び他クラブメンバーの熱き友情によりなんとか終えることができましたことに心より御礼申し上げます。

また、本日は大変お忙しい中、ロータリー米山記念奨学学友副委員長 石井成人様、奨学生 李志君、ロータリーの友地区代表委員 岡部みゆき様にお越しいただき、重ねて御礼申し上げます。

さて本日の会長の時間は過去数回のテーマ「ロータリーの基礎知識」に沿って、「日本ロータリーの歴史」を題材に

次回・次々回に渡って、お話ししたいと思います。

まず、日本におけるナンバーワンクラブである「東京ロータリークラブ」は、大正9年10月20日、東京丸の内の銀座クラブという建物で超一流の実業家24名によって創立されました。初代会長は米山梅吉、初代幹事は福島喜三次でした。人格的にも立派な大実業家ばかりの集まりでしたが、ロータリーのことはよくわかっていないようで、各人が「俺のお陰でロータリーがある」という考えばかりの人たちでしたので、月一回第二水曜日の例会も碌に集まらず、さればかりか年末年始は休会にしたりして、真面目にロータリー活動はしていなかったようです。初代会長の米山さんは、クラブ維持のため、ルールと親睦が対立した時はルールの方を捨てたように、妥協を強いられたようです。

その後、クラブが安定してくると米山さんは、ルールを重視するようになりましたが、そのことが一部の反感を買うことにもなつたらしいです。しかし、このような状況の東京クラブに電撃的なショックを与えたのが大正12年9月1日に発生した「関東大震災」でした。当時日本には「東京クラブ」と「大阪クラブ」し

かなかったのですが、時のR I事務総長チェスレー・ペリーは、直ちに25,000\$の大金を義援金として東京クラブに送ってきまして、これが差水になって、世界中の503クラブから、この25,000\$を含めて総額89,000\$の義援金が送られてきました。

これを見て、腰を抜かすほど驚いたのが米山さんはじめ日本のローターであり、それまでローターなど大した組織ではないと馬鹿にしていたのですが、これは大変な組織だということで、それから謙虚にローターの奉仕を学ぶようになったらしいです。

そしてそれまで、東京ロータークラブは、特権保有クラブとして、毎週一回の例会の開催を義務付けられていませんでしたが、それからはこの特権を放棄して、毎週必ず例会を開き、奉仕に耳を傾けるようになったようです。時に、大正13年11月14日のことでした。この続きは次回例会時にお話しさせていただきますので本日はこの辺で終わりとさせていただきます。

## 幹事報告

荻野 陽一

### 理事会報告

◆役員選考委員会の設置と構成の承認

指名委員 2名

◆吉安扶輪社訪問・・・12/6(金)～8(日) 8名参加

◆クリスマスパーティー・・・12/21(土) ベルヴィザ・グラン

◆新年会 1/14(火) 堤新亭

◆フレンドリーカップサッカー大会 協賛 1万円

### 幹事報告

◇第7回日台ローター親善会議 福岡大会のご案内

2020年3月6日(金) ホテルニューオータニ博多

◇ローター米山記念奨学会ニュース ハイライトよねやま 235号

◇「RIJO-FAQ」

\*2019年11月ローターレート1ドル=108円

\*配信履歴(～2019年9月末 ～10月末)

◇再 2019年度 米山記念奨学部門クリスマス会のご案内 12月8日(日) 16:30～ 川越東武ホテル

◇派遣年度 2021年7月1日～2022年6月30日  
ローター財団「海外派遣」奨学生募集ポスター掲示の  
お願い

◇スリーデーマーチ 中止のお知らせ

◇国際ローター出版物日本語版注文用紙(抜粋)

◇第3回青少年交換委員会リエンション開催のご案内  
11月10日(日) 国立女性教育会館 13:00～

◇再 (日本のローター100周年記念ピンバッジ)頒布についてご協力のお願い

◇「世界ポリテール」広報掲載新聞送付のご案内  
10月24日付の読売新聞埼玉版

◇2020～2021年度 米山記念奨学生 受け入れの  
お願い

◇学友会ニュース 2019～20年度 第4号

◇2019～2020年度 「ローターの友」今月のみどころ  
配信について

◇第3グループガバナ補佐 徳永 眞澄様から、12月  
14日(土)に開催される、会員増強フォーラムに入会  
候補者のご出席のお願い

◇例会変更・・・飯能RC、入間RC、入間南RC、  
所沢RC、新所沢RC、所沢中央RC

◇週報・・・飯能RC、新所沢RC、所沢東RC、  
所沢中央RC

ローターの友 地区代表委員 岡部みゆき様



「友」みどころを配信しています。是非ご活用下さい。又、「投稿」も積極的にお願ひします。

増強フォーラムを12月14日(日)13時から、熊谷キングアンバサダーホテルで開催いたします。

是非ロータリーに興味ある方、ロータリーを確認したい方 お越し下さい。第3グループ代表は新所沢ロータリークラブ 中川 潤さんがパネリストです。

川越ロータークラブ 石井 茂人様



本日は、米山月間の卓話に、米山奨学生「リー」君をお呼びいただき、有難うございます。これからも御

協力宜しくお願い致します。

坂戸ロータークラブ 岡部 みゆき様 お世話になります。

高橋 和男 本日はローター米山記念奨学学友副委員長 石井 茂人様 奨学生 李 志君 岡部みゆき地区代表委員様 ようこそお出で下さいました。短い時間ですが宜しく申し上げます。

荻野 陽一 本日は、ローター米山記念奨学学友副委員長 石井 成人様 奨学生 李 志様 卓話宜しくお願い致します。又、ローターの友地区代表委員 岡部 みゆき様お出でいただき有難うございます。

鈴木 眞澄 ローターの友の岡部さん ローター米山の石井さん 奨学生の李 志さんお忙しい中、当クラブの例会に参加いただき、有難うございます。

石井 秀夫 米山記念奨学会 学友委員会副委員長 石井様 奨学生 李 志さん 本日は有難うございます。宜しく申し上げます。ローターの友 岡部 みゆきさん ようこそお出で下さいました。有難うございます。

内田 学 ニーハオ 李さん 石井さん 西ローターにようこそ。

鈴木 伴忠 米山記念奨学会 学友会副委員長石井様 奨学生の李さん 本日の卓話宜しくお願いします。

本橋源太郎 石井様 李様 本日は宜しく申し上げます。

新井 孝敏 しばらく欠席していました。申し訳ありません。石井様 李様 卓話よろしく申し上げます。

内野 忍 石井 茂人様 李 志君 岡部みゆき様 ようこそお出で下さいました。本日は宜しく申し上げます。

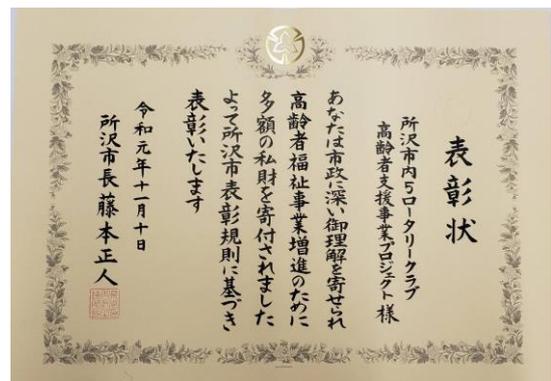
金岡 悟 先日のゴルフコンパに参加していただいた皆様 ありがとうございます。本日の卓話 石井様 李様 宜しく申し上げます。

大館 信夫 前回欠席しました。

和記 毅 前回欠席。

徳江 和宏 前回欠席です。

### 所沢市福祉高齢者支援課より、5クラブ共同事業の感謝状を頂きました。



### 2019-20 年度 米山月間 米山記念奨学部門

卓話 李 志さん (中国 山東省) 早稲田大学



皆様、こんにちは。今日卓話させていただいて、とても嬉しいです。今回の卓話では、私の地元、そして地元の居民たちの伝統や生活について話したいと思います。

まずは簡単な自己紹介をさせていただきます。私は1993年11月生まれ、今年26歳になりました。2012年高校卒業してから、地元を離れて、上海理工大学の管理科学部に入学しました。大学では、短期留学生として、一ヶ月間日本に来ました。当時は日本の大学の雰囲気に着かれて、大卒後日本に留学しようと思いましたが、お金の問題でなかなかできませんでした。そして大学卒業した後、地元に戻ってチャイナモバイル山東省支社という会社に就職しました。工作中、やはり自分が留学を諦めないということで、2017年の4月に来日しました。一年間で日本語学校を通過して日本語を勉強しました。2018の4月から、早稲田大学院人間科学研究科に合格して入学しました。データの分析方法や見える方法を研究しております。2019年から、ロータリー米山奨学生となりました。今は入間クラブにお世話になっております。ロータリーの奨学生となってから、色々の活動に参加させていただき、とても楽しかった、本当にありがとうございます。

では、地元の話に移りたいと思います。山東省は北京の南、上海の北、ちょうど真中ぐらいです。地理的には、山東省は日本が一番近いです。そのため、山東省には日本の企業さんがたくさんあります。また、東京と同じ緯度なので、天気も似ています。海にちょっと離れたので、台風はあまり当たりません。ここで一つ日本と中国の違いを話させていただきます。それは行政区画の違いです。中国では、一番目の行政区画は省、自治区、直轄市、二つ特別行政区の香港とマカオ、二番目は市、市から県。日本は都道府県から市。行政区画においては、中国と日本は逆になっています。私が最初日本に来た時、少し迷いました。

話を戻って、今回皆様にご紹介したいのは四つの地域です。まずは古典小説水滸伝の舞台の梁山県、続いては曲阜市、ここは世界文化遺産に登録されました。孔子の生地として世界に知られている。毎年たくさんの観光客がいらっしゃいます。そして私を育てた町です。私は小学校から高校まで、ずっとこの町に住んでいます。最後は、夏の思い出がたくさん残される微山湖です。

では、詳しく話させていただきます。まず梁山県について紹介させていただきます。梁山県は古典小説水滸伝の舞台であります。大昔は梁山泊という沼がありますが、今はなくなりました。伝説のみがたくさん残りました。梁山のことを日本で調べたところ、日本文化の繋がりががあると発覚しました。日本の大画家、歌川国芳さんが梁山人物を描いたことがあります。小説の人物の性格を、独特な絵で表しました。やはり日本と中国の繋がりが長い、深いと感じました。



続いては曲阜市、ここで孔子が祀られている「孔廟」と、孔子とその末裔の墓所である「孔林」、孔子の子孫が暮らしていた「孔府」の3か所が、1994年に世界文化遺産に登録されました。紫禁城につき、中国で二番目大きな建築群です。毎年9月28日の前後10日間に曲阜で孔子を記念するため、「孔子国際文化祭」というイベントが行われます。28日には「曲阜孔廟祭孔大典」という孔子を祭る式典が開催されます。しかし、地元の居民にとっては、あまりこの祭りに行かないと思います。曲阜市は観光地として有名であるので、交通はとても便利です。高速鉄道を利用すれば、ペッキーから2時半、上海と青島から3時半くらいで行けます。だから地元の人にとっては、曲阜市は単なる駅だとも知りません。ちなみに、早稲田大学には、孔子像があります。これは中日友好の象徴と言えると思います。

微山湖は中国北地方で一番大きな湖です。中学時代には、良く友たちと一緒に釣りに行きます。現在観光業を発展するため、整備をきちんとしています。微山湖といえば、郷土料理の鯉やナマズの鍋料理が有名です。鍋の周りは小麦から作られるせんべいみたいな物です。とても美味しかったです。

最後は私を育てた町を紹介したいです。中国の発展が早いので、十年間で風景が大きく変わりました。地元の商店街は日本の商店街と同じ、お洋服屋さん、お菓子屋さん、お惣菜さんがたくさんあります。うちの学校に近いので、よくその辺で晩ご飯を食べて家に帰ります。残念ながら、この商店街が大手不動産屋に買収され、一昨年に取り壊されました。

日本では食べること、着ること、住まうこと、そうした生活の基本を漢字で簡潔に表現しようとする時は「衣食住」（いしょくじゅう）などと表現する。中国と同じ言葉で、交通を加えて、「衣食住行」と表現する。中国はとても広いので、各地域の違いがあります。今回地元の居民の話为例として、話させていただきます。



着ることと言えば、まず思いつくのは人民服、これは孫文を記念するため服であります。実際には、これは日本の学生制服をモデルにデザインしたものです。そしてチャイナスーツ、実際には清代末期の中国式服装なのです。一応流行ったことがありますが、今の若い子は着ないです。最後は漢服、漢服は漢民族の伝統的な服飾であります。伝統文化の見直しのため、最近若い人たちに人気があります。

中華料理といえば、四川料理を思いつくのが多いですが、私の地元にも独特な食文化があります。卵や肉、野菜などを油で揚げ、パンみみたいなものに挟まれて、そして香辛料や豆板醤などを加える食べ物は屋台で一番人気の食べ物です。冬には、フーラータンとラム肉スープが定番だと思います。冬は寒いから、辛いものやラム肉などは人を温める機能があります。この二つのスープは朝で食べて、一日にぼかぼかで過ごすことができます。

中国の野菜、果物や肉などは、量り売りです。野菜を洗うや事前のふるい落とすはあまりしません。

泥まみれのままお客様の前に出すのは当たり前なことだと思われます。これは自家の野菜は新鮮である証と思われます。最近では、野菜市場にスマホでお金を支払うことができるようになりました。

中国では、みんな団地のような集合住宅に住んだ方が多い。この集合住宅区には、コンビニやジムなどの施設があります。日本では、一戸建てが多いです。中国で立派な一戸建てはお金持ちしか持っていません。

交通においては、みんなはバスや自転車を利用する方が多いです。地下鉄や電車などは、上海といった大都市しか持っていません。日本は電車を利用する方が多いです。初めて日本に来たとき、新宿駅に迷いました。

日本と母国の架け橋となって、交流を深めることは私たち米山奨学生の使命だとおもいます。メディアやネットの情報は、偏ったものが多いです。

実際の中国人は日本人と文化の違いが多い一方、共通点もたくさんあります。先月、入間万灯祭に参加させていただきました。本当の日本人の生活を体験して、本当にありがたいです。このような素晴らしい祭りを、もっと中国の観光客に紹介してあげたい。また、このような貴重な卓話の機会を通じて、本当の中国を日本の皆様を紹介したいと思います。

ここで、私の卓話を終わらせたいと思います。ご清聴ありがとうございます。

今週の担当 小暮 博文

